

内閣総理大臣 安倍晋三 様

原発の再稼働をやめ、再生可能なエネルギー政策へ抜本的な転換を求めます。

東日本を襲った大震災と福島第一原発による原発大震災から2年が経ちました。今なお、大量の放射能が大地と海を汚染し続け、住み慣れた土地に帰りたいという願いを果たせない人々が十数万人もおり、被曝による健康被害の恐怖にさらされつづける何十万人もの子どもたちがいます。これらの現実を見ると、原発を安全だと言って推進してきた、政治家、官僚、電力会社、御用学者、マスメディア等々の人々の責任と罪がどれほど重く大きいかは明らかです。

ところが、政府は原発政策を全面的に見直し、原発・核燃料サイクルの推進をめざしていません。原発震災による大惨事にもかかわらず、なお原発政策を推進する背景はどこにあるのか。「隠された国策」といわれる核武装能力の堅持ではないかと思われます。私たちは、憲法九条と非核3原則が果たしてきた役割を評価し、原発も核武装能力も放棄すべきだと考えます。今、政府と電力会社等が取りうる唯一のエネルギー政策は、原発に頼らないエネルギー政策への大転換です。原発大震災による被害の実態を把握し、東京電力と政府に万全な補償を強く求めます。

1. 原発の再稼働をやめ、原発の輸出は絶対にしないこと。
2. 核燃料サイクル政策を抜本的に見直し、早期に再生可能な自然エネルギー政策へ抜本的に転換すること。
3. 原発大震災によって被った全ての被災者へ、東京電力が速やかな補償をするように政府は責任を持つこと。
4. 放射能に汚染された瓦礫の拡散を止め、現地で処理をして放射性物質の含まれた灰はすべて東京電力に送るよう政府は指導すること。

氏 名	住 所

ピースサイクル 2013 全国ネットワーク

東京都千代田区三崎町 2-6-2 ダイナミックビル 5F たんぽぽ舎内 TEL 03-3238-9035